

A0602-08	<p style="text-align: center;">コーンルーフタンクに送液する時はタンクに 圧送用の加圧ガスを入れるな</p>		
本文	<p>加圧したガスを使ってコーンルーフタンクに液体を送入する場合には、圧送用ガスをタンクに入れないこと。</p>		
リスクの種類	タンクの損傷、破裂	目次: 章節	
理由(何故)	<p>一般にコーンルーフタンクは大気圧で使用する前提で設計されており、耐圧構造にはなっていないため、加圧されるとタンクが破裂したり、部分的な損傷を起こす。</p>		
方策	<p>(1) 圧送によりコーンルーフタンクに液体を移送する場合には、予め、加圧源となるガスのコーンルーフタンクへの流入の防止、あるいは最小化するための計装システムや監視体制を整えておくこと。</p> <p>(2) 可能であればポンプを使用して移送すること。</p>		
事故例	<p>クロロスルホン酸液を船から加圧法でコーンルーフタンクに移送中、船側、陸側とも弁の停止操作が遅れ、ハッチを経由して圧送用空気が液ラインに流れ込み、タンクが加圧されて天板が開口した。</p> <p>(1998年8月、油槽所、神奈川県) JST失敗事例より。</p>		
法的参考事項			
備考			